

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・3」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。3学期には、市内全42小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、令和7・8年度の2か年、太平南ブロックを学力向上推進研究校に指定し、主体的に考え、学びに向かう子どもの育成を目指した研究を推進した。

更に、GIGAスクール構想により、令和3年度に児童生徒一人につき一台のタブレット端末が市内全校に配備され、本年度においても、各校において、授業等での端末の活用が一層進んだ。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内13の中学校ブロックで、小中合同研修会や推進委員会、合同学校運営協議会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

人権教育については、栃木南ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定し、2か年の研究の最終年度として、「認め合おう 自分と仲間の 輝く未来のために～差別を自分事として捉え、その解消を目指す児童生徒の育成～」を目指した研究を推進し、公開研究発表会を実施した。

グローバル教育については、小学校では、1つの学校に複数の外国語指導助手（ALT）が一日訪問し、全児童が英語によるコミュニケーション活動を体験する「グローバルデー」を4校で実施、中学校では、市内の全生徒がALTと1対1でコミュニケーションを体験する「コミュニケーションチャレンジ」を実施した。更に、多面的・多角的な視点から物事を捉え、考えを伝え合う力の育成を目指した「グローバル教育プログラム」を市内全校で実施するなど、本市グローバル教育の基本理念「多様な他者と協働して課題を解決できる児童生徒の育成」の具現化に向けた実践と研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とし「“あったか栃木” いじめ防止子どもフォーラム」をオンラインで開催した。

ICT教育環境の整備では、GIGAスクール構想により導入したタブレット端末等の情報通信機器の保守管理、教育用コンピュータ貸借の更新等を行い、ICT教育環境の向上に努めた。

1 学務に関する事業

(1) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
令和6年5月1日	6,907	338	3,684	151
令和7年5月1日	6,821	337	3,531	148
比 較	-86	-1	-153	-3

(2) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	61,819
	前期転学用	227
	後期用	12,252
	後期転学用	311
中 学 校	前期用	34,626
	前期転学用	90
	後期用	-
	後期転学用	124
合 計		109,449

(3) 教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数 (冊)	費用 (円)
教師用教科書 前後期用	2,153	1,200,716
教師用指導書等 (デジタル教材含む) 前後期用	1,030	32,786,820
合 計	3,183	33,987,536

(4) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施する事業である。令和7年度は市内28校で実施した。

(1校は隔年実施のため本年度未実施)

(5) 特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

・市内37の小中学校で実施、交付金額1,500,000円

教職員係

1 教職員に関する事業

(1) 教職員の人事事務（県費負担職員）

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

（のべ人数 単位：人）

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
132	63	191	44	36
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
17	8	0	28	52

(2) 教職員の服務・管理に関する事務（県費負担職員）

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務
- ・教員免許制度に関する事務
- ・教職員の履歴に関する事務

(3) 教職員の給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はいないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

指導係

1 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、児童生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第三小、国府北小、大平中央小、西方小、真名子小、都賀中、西方中、岩舟中

イ 研究学校

(7) 市指定人権教育実践校

・栃木第四小、南小、栃木南中

(4) 市指定学力向上推進研究校

・大平南小、大平中央小、大平南中

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	体育、国語	11月6日	木	
2	栃木第三小	教科等(3授業)	10月23日	木	共同訪問
3	栃木第四小	社会	11月7日	金	人権教育実践校公開研
4	栃木第五小	国語、総合	11月18日	火	
5	南小	道徳、総合	11月7日	金	人権教育実践校公開研
6	大宮南小	講話	5月21日	水	学校課題について
7	大宮南小	講話	6月17日	火	グローバル教育プログラムについて
8	大宮北小	講話	6月4日	水	評価について
9	大宮北小	国語、総合	11月19日	水	
10	皆川城東小	講話	7月29日	火	グローバル教育プログラムについて
11	吹上小	講話	5月7日	水	グローバル教育プログラムについて
12	吹上小	講話	7月31日	木	グローバル教育プログラムについて
13	吹上小	国語	10月17日	金	
14	千塚小	社会	11月19日	水	
15	寺尾小	講話	7月2日	水	グローバル教育プログラムについて
16	寺尾小	総合	10月29日	水	
17	国府南小	講話	6月11日	水	算数科の授業づくりについて
18	国府南小	算数	11月12日	水	
19	国府北小	教科等(3授業)	6月18日	水	共同訪問
20	国府北小	自立活動	11月5日	水	
21	大平東小	国語(模擬授業)	6月4日	水	
22	大平東小	国語	10月29日	水	
23	大平南小	国語	7月3日	木	
24	大平南小	国語	12月10日	水	
25	大平西小	講話	7月25日	金	学校課題について
26	大平西小	国語	10月1日	水	

27	大平西小	算数	10月22日	水	
28	大平中央小	教科等（5授業）	9月17日	水	共同訪問
29	藤岡小	生活科	5月28日	水	
30	藤岡小	総合	11月5日	水	
31	部屋小	講話	6月23日	月	学校課題について
32	部屋小	算数	11月25日	火	
33	赤麻小	講話	6月27日	金	グローバル教育プログラムについて
34	赤麻小	社会	10月22日	水	
35	三鴨小	算数	12月22日	月	
36	合戦場小	講話	5月28日	水	国語科の授業づくりについて
37	合戦場小	国語	9月24日	水	
38	家中小	講話	6月4日	水	グローバル教育プログラムについて
39	家中小	算数	11月12日	水	
40	赤津小	指導案検討（社会）	10月8日	水	
41	赤津小	社会	11月26日	水	
42	西方小	教科等（2授業）	7月9日	水	共同訪問
43	西方小	国語	11月12日	水	
44	真名子小	講話	6月11日	水	すくすくシートについて
45	真名子小	教科等（2授業）	10月3日	金	共同訪問
46	岩舟小	算数、道徳	10月10日	金	
47	静和小	算数	10月29日	水	
48	小野寺小	社会	10月29日	水	
49	栃木東中	講話	4月30日	水	グローバル教育プログラムについて
50	栃木東中	道徳	12月5日	金	
51	栃木西中	講話	5月28日	水	グローバル教育プログラムについて
52	栃木南中	道徳	11月10日	月	人権教育実践校公開研
53	東陽中	講話	7月30日	水	グローバル教育プログラムについて
54	皆川中	講話	7月31日	木	評価について
55	皆川中	社会	11月12日	水	
56	吹上中	指導案検討（保健体育）	9月8日	月	

57	寺尾中	講話	8月1日	金	グローバル教育プログラムについて
58	寺尾中	指導案検討（理科）	8月1日	金	
59	寺尾中	理科	10月9日	木	
60	大平中	数学	9月5日	金	
61	大平中	社会	12月10日	水	
62	藤岡中	社会	9月16日	火	
63	藤岡中	道徳	12月9日	火	
64	都賀中	教科等（3授業）	7月2日	水	共同訪問
65	西方中	講話	8月1日	金	グローバル教育プログラムについて
66	西方中	理科	9月10日	水	
67	西方中	教科等（2授業）	11月13日	木	共同訪問
68	岩舟中	教科等（3授業）	11月26日	水	共同訪問

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2) 教育研究発表会

市内の保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で行ってきた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

- ・発表方法 録画による動画の限定配信（口頭発表）
市教育研究所ホームページへの文書データの掲載（紙上発表）
- ・配信日時 1月23日（金）午前10時～2月27日（金）
- ・口頭発表 12件（小学校5件、中学校2件、高等学校4件、人権教育実践校1件）
- ・紙上発表 10件（小学校6件、中学校3件、高等学校1件）

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、栃木南ブロックの小中学校を人権教育実践校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア 第1回人権教育研修会

- ・実施日 7月14日（月）～8月29日（金）
- ・方法 オンデマンド配信
- ・内容 栃木県の人権教育の推進について
下都賀教育事務所学校支援課 飯塚 寛 指導主事
- ・参加者 各小中学校の人権教育主任

イ 第2回人権教育研修会

- ・実施日 11月7日（金）、11月10日（月）

- ・内 容 市指定人権教育実践校の人権教育公開研究発表会への参加
 - ・参加者 各小中学校から1名ずつ
- ウ 研究指定校（栃木南ブロック：栃木南中、栃木第四小、南小）での取組

(ア) 公開研究発表会の実施

- ・実施日 11月 7日（金）栃木第四小、南小
11月10日（月）栃木南中
- ・内容 全体会
公開研究授業
栃木南中：道徳 栃木第四小：社会
南小：総合的な学習の時間、道徳
分科会

(イ) 研究推進委員会と研究企画部会の開催

- ・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施
研究推進委員会（校長、教頭、教務主任、研究担当者）
実施回数 2回 5月15日（木）、2月16日（月）
研究企画部会（教務主任、研究担当者）
実施回数 2回 4月24日（木）、9月19日（金）

(4) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育コーディネーター連絡会議

- ・実施回数 1回
- ・対 象 特別支援教育コーディネーター 参加者42名

イ 児童生徒支援研修会

- ・実施回数 1回
- ・対 象 特別支援教育コーディネーター 児童生徒指導担当 参加者84名

ウ 通級指導教室担当者研修会

- ・実施回数 1回
- ・対 象 通級指導教室担当者 参加者15名

エ 通級指導教室担当者事務連絡会議

- ・実施回数 1回
- ・対 象 通級指導教室担当者 参加者18名

オ 学校支援員等研修会

- ・実施回数 2回
- ・対 象 学校支援員 学校支援員（医療的ケア） 個別指導通級教室支援員
参加者67名

カ 特別支援教育研修会

- ・実施回数 1回
- ・対 象 特別支援学級担当者 参加者89名

キ 臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(5) 幼・保・小連絡協議会

栃木市内の保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を計画した。

ア 代表者会議（年2回）

第1回は書面開催、第2回はオンラインにて実施

イ 研修会

実施回数 2回

参加者 保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員

第1回（都賀公民館） 計64名

第2回（都賀公民館） 計65名

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

保育園・認定こども園から小学校へ 27名

小学校から保育園・認定こども園へ 29名

(6) 地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア 13中学校区児童生徒指導連絡協議会等

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動等を展開

・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

・実施期間 4月～3月

ウ 児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターによる合同研修会を開催

・実施日 8月8日（金）

エ 各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月11日（火）

(7) 教育支援センターに関する事務

教育支援相談員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校復帰を含む社会的自立に向けた指導及び支援を行ったほか、保護者に対する教育相談を行った。

・教育支援センター通級人数 35人（学校復帰人数34人）

（単位：件）

来所相談	1,767
電話相談	962

学校訪問	43
家庭訪問	1
合 計	2,773

(8) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

- ・対応件数 36件（うち終結した件数15件、他機関へ引き継いだ件数1件、引き続き対応している件数20件）

(9) 防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア 栃木市防災教育基本プログラムの活用

- ・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数42校）

イ 実践的体験活動の充実

- ・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施（実施校数42校）

(10) 小中一貫教育推進

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施している。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

ア 各ブロック重点目標

No	ブロック名	重点目標
1	栃木東ブロック	・学び合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできる子どもの育成（振り返り活動の充実） ・目標に向かって主体的に行動したり協働したりできる子どもの育成（自己有用感を高める系統的な行事・生徒指導の積み重ね）
2	栃木西ブロック	・主体的に学びに向かう子どもの育成 ・自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成 ・基本的な生活習慣を身に付けた子どもの育成
3	栃木南ブロック	・みずからよく考え、共に学び、自信をもって表現できる子どもの育成
4	東陽ブロック	・多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ・多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長

		する子どもの育成
5	皆川ブロック	・ よりよい言語活動（話す・聞く）による他者との協働的な学びの充実 ・ 目的や相手を明確に意識して筋道を立てた表現力の向上
6	吹上ブロック	・ I C T活用や協働的学習を通して、意欲的に学ぶことができる児童生徒の育成 ・ 他者とのコミュニケーションを大切にし、積極的に学校生活を送ることのできる児童生徒の育成
7	寺尾ブロック	・ 令和４・５年度栃木市教育委員会指定「人権教育実践研究校」として取り組んできた成果を生かしながら明確となった課題を解決するために、『寺尾ブロックの小中一貫教育』グランドデザインに沿って、『目指す子ども像』の育成を図る ・ 目指す子ども像を小中の両校が同じく設定して、より一層小中教職員の同僚性を高め、主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する児童生徒の育成を図る
8	大平ブロック	・ 主体的に学習に取り組み、自分の考えを相手に伝えられる子供の育成 ・ 互いに尊重し合い、豊かな人間関係を築ける子供の育成 ・ 食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身に付けられる子供の育成
9	大平南ブロック	・ 教育の効果や連続性を高める教職員・児童生徒の交流・協働の推進 ・ 発達段階に応じた規範意識の高揚と実践 ・ 自他尊重の精神の育成 ・ 自己有用感の育成
10	藤岡ブロック	・ いろいろな人と一緒に学びながら、自分の目標を達成したり疑問を解決したりしていく ・ みんなのいろいろな考えを大切にしながら、話し合って決め、力を合わせて実行する ・ 自分の心や体の健康と命を守るための行動や運動を続ける（習慣にする）
11	都賀ブロック	・ 主体的・協働的に課題解決できる子どもの育成 ・ 互いに尊重し合い、豊かな人間関係が築ける子どもの育成 ・ 運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指す子どもの育成
12	西方ブロック	・ 友達の良いところや自分の意見との違いに気づき、自分の考えを表現することができる子どもの育成 ・ 基本的な生活習慣を身につけた子どもの育成

		・ 西方ブロック学力向上推進研究の推進と授業研究発表
13	岩舟ブロック	・ 表現力の向上と家庭学習の充実 ・ 「礼儀正しい岩舟中学区生」の育成 ・ 「子どもの自己有用感を高めるための方策」を考える ・ 正しい姿勢を身に付け、学習や健康の増進の意欲を高めようとする子ども

イ 各ブロック小中合同研修会

中学校ブロックの教員が合同で重点目標の達成に向けて研修会を実施した。

No	ブロック名	実施日
1	栃木東ブロック	① 5月21日（水） ② 7月31日（木） ③ 12月 5日（金） ④ 2月 4日（水）
2	栃木西ブロック	① 8月 5日（火）
3	栃木南ブロック	① 7月30日（水）
4	東陽ブロック	① 5月27日（火） ② 8月 1日（金）
5	皆川ブロック	① 5月 7日（水） ② 6月11日（水） ③ 7月29日（火） ④ 11月12日（水） ⑤ 1月23日（金）
6	吹上ブロック	① 5月28日（水） ② 7月31日（木）
7	寺尾ブロック	① 5月 7日（水） ② 8月 1日（金） ③ 1月14日（水）
8	大平ブロック	① 6月 5日（木） ② 7月29日（火） ③ 12月 5日（金） ④ 1月15日（木） ⑤ 1月23日（金） ⑥ 3月19日（木）
9	大平南ブロック	① 5月16日（金） ② 7月31日（木） ③ 1月21日（水）
10	藤岡ブロック	① 6月 4日（水） ② 7月29日（火） ③ 11月12日（水）
11	都賀ブロック	① 5月 7日（水） ② 7月31日（木） ③ 2月 4日（水）
12	西方ブロック	① 5月 9日（金） ② 7月31日（木） ③ 9月10日（水） ④ 11月12日（水）
13	岩舟ブロック	① 5月 9日（金） ② 8月 4日（月） ③ 8月 5日（火） ④ 9月22日（月） ⑤ 9月29日（月） ⑥ 12月 2日（火） ⑦ 1月29日（木） ⑧ 2月 5日（木）

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学 校 課 題 ・ 研 究 主 題	教科等	備 考
栃木中央小	「主体的・対話的に学びを深める児童の育成」 ～表現力を高める指導法の工夫～	国語科を基盤とした各教科	
栃木第三小	思いやりの心もち、互いに助け合い協力し合う児童の育成 ～「話したい」「知りたい」「語り合いたい」を育むための授業づくり～	全教科	

栃木第四小	「自らよく考え、分かりやすく表現し、共に学び合う児童の育成」 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～	全教科（全領域）	人権教育実践校
栃木第五小	思考力・判断力・表現力を育成する指導法	国語、総合的な学習の時間	
南小	互いのよさや可能性を認め合い、相手の気持ちを考えて行動できる子どもの育成	学級活動、道徳、総合的な学習の時間	人権教育実践校
大宮南小	主体的に学び、自分の考えを表現できる子どもの育成 ～根拠をもって自分の考えを伝え合う活動を通して～	国語、算数、理科、社会、総合	
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～学習意欲を高め、児童が互いに学び合う授業をめざして～	教科を限定しない	
皆川城東小	「学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進」 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	よりよい言語活動（話す・聞く）	
吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～課題解決に向けて協働する授業を目指して～（2年次）	全教科	
千塚小	自分の思いや考えを、自分の言葉として話すことができる児童の育成	教科を限定しない	
寺尾小	対話を通して、自分の考えを深められる児童の育成 ～相手意識をもったきく（聴く、訊く）スキルの向上を目指して～	総合、学級活動	
国府南小	多様な考えや情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成～「できた」「わかった」喜びを実感できる算数科の授業づくり～	算数	
国府北小	「できた」「わかった」が実感できる児童主体の授業づくりと確かな学力の育成	教科を限定しない	

大平東小	主体的に学び、いきいきと表現する児童の育成 ～国語科の授業改善を通して～	国語	
大平南小	「主体的に課題に取り組み、自分の考えを表現できる子どもの育成」～読解力の育成を中心として～	国語科	学力向上推進研究校
大平西小	「児童が深く学んだことを生き生きと表現する姿を目指して」 ～思考力・判断力・表現力を育成するための授業改善～	全教科	
大平中央小	自ら考えをもち、主体的に表現できる児童の育成 ～読解力を生かして～	国語科	学力向上推進研究校
藤岡小	児童の話し合う力・表現する力を伸ばす研究 ～生活・総合と各教科とのつながりを通して～	生活科 総合的な学習の時間	
部屋小	粘り強く学習に取り組み、学び方をブラッシュアップできる児童の育成 ～主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて～	全ての教科対象	
赤麻小	自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導の工夫 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学校課題の工夫・改善を通して～	全教科を通して研究を行う	
三鴨小	つながりのある学びの展開 ～数学的な見方・考え方を働かせ、考えを表現することのできる算数科授業づくり～	算数	
合戦場小	自分の思いや考えを深め、表現できる児童の育成 ～自分の思いや考えをもち、自信をもって発表するための指導の工夫～	国語	
家中小	自分の考えをもち、共に学び合う子供の育成 ～分かる喜びと学ぶ楽しさを感じさせる算数科の授業づくりを通して～	算数	
赤津小	児童の話し合う力を高める学習指導の在り方 ～深い学びの実現に向けて～	教科は問わない	

西方小	学び合う力を高める学習指導の在り方～文章全体を捉えて読み、自分の考えを広げ、学びを楽しむ指導の工夫・改善～	国語科	
真名子小	自分の考えを深め合う授業づくり ～考えを整理するための「書く」活動の工夫～	国語・算数	
岩舟小	自分の考えを表現できる児童の育成 ～教科に応じた手立ての在り方～	国語・算数・社会・理科・道徳	
静和小	算数科における基礎的・基本的な学力向上を目指した学習指導の工夫	算数科	
小野寺小	自分の思いや考えを表現する力を育む指導の工夫 ～ふるさとのよさを発信できる児童の育成をめざして～	社会科、生活科、総合的な学習の時間	N I E 推進事業活用
栃木東中	見方・考え方を働かせ、進んで学び合う生徒の育成 ～グローバル教育プログラムの充実を通して～	全ての教科等	
栃木西中	「主体的に学びに向かう生徒の育成」 ～多面的・多角的な見方や考え方を通して～	全教科・領域	
栃木南中	生徒が自ら課題を見つけ、自主的に学習に取り組むための学習支援の充実 ～多様な考えを認め合い、学び合いの中で自己の考えを深める生徒の育成～	全教科	人権教育実践校
東陽中	「主体的・対話的で深い学びに導く授業の創造」 ～できた・分かったが実感できる「振り返り」の実施による達成感の得られる授業づくり～	全教科	
皆川中	・学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育推進～自他のよさを認め、共に学び高めあう児童生徒の育成～ ・主体的に考え表現し、自ら学ぶ意欲を育てる生徒の育成～UD化、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、9者の一体化	国語・社会・数学・理科・英語・音楽・保健体育・総合的な学習	
吹上中	主体性を伸ばすための指導の工夫	全教科	

寺尾中	「主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する生徒の育成」 一栃木市グローバル教育の実践を通して一	「各教科等」を中心とする。	
大平中	「できた」「わかった」を実感できる授業づくり（1年次）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保健体育・技術家庭	
大平南中	「主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成」 ～自ら課題を設定し、自分の考えをきちんと発信できる生徒の育成～	全教科	学力向上推進研究校
藤岡中	教科横断的な視点に立った学習プログラムの開発と実践 ～互いの考えを練り合い、自信をもって伝え合うことができる生徒の育成～	全教科	
都賀中	「きく力」「つたえる力」「ねばり強く取り組む力」の育成～課題解決ができる生徒を目指して～	全ての教科・領域	
西方中	学び合う力を高める学業指導の在り方 ～学びを「つなげる」ことを通して主体的に学習に取り組む生徒の育成	各教科	
岩舟中	自分の考えをもち、自分らしい目標実現を目指して、いきいきと主体的に学びに向かう生徒の育成 ～思考力・判断力・表現力を高める授業づくり～	全教科	

*表記については、各校から報告された文言で示している。

グローバル教育推進室 グローバル教育推進係

1 グローバル教育に関する事業

(1) 外国語指導助手（ALT）学校派遣

小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国語指導助手（ALT）22名を各校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金

曜日に訪問した。

訪問実績（各校各学級への年間訪問時数）

- ・ 小学1・2年生 10時間
- ・ 小学3・4年生 35時間
- ・ 小学5・6年生 55時間
- ・ 中学1・2・3年生 33時間

※チーフA L T 1名を除く21名のA L Tが、令和7年度の市内児童生徒の登校日数である200日間、それぞれの担当校に訪問した。（チーフA L Tは、週に1日程度、市教委での勤務日がある）

(2) グローバルデー

複数の外国語指導助手（A L T）が終日学校を訪問し、外国語の背景にある文化体験やA L Tとの直接的なコミュニケーション活動を実施した。

ア 実施校

- ・ 西方小学校 10月17日（金）
- ・ 家中小学校 11月 5日（水）
- ・ 部屋小学校 11月28日（金）
- ・ 大宮北小学校 12月15日（月）、16日（火）

(3) グローバルアワー

外国語指導助手（A L T）の英語による自国の文化紹介の講座を開設し、参加生徒が受講を希望する国の講座を選択して実施した。

ア 実施校

- ・ 皆川中学校 10月10日（金）
- ・ 都賀中学校 11月20日（木）

(4) コミュニケーションチャレンジ

市内全中学校において、生徒が外国語指導助手（A L T）との1対1でのコミュニケーションの中で、自然な文脈で英語を使い、思いや考えを伝え合うことができる機会を提供した。

ア 実施期間

12月1日（月）～12月12日（金）

(5) グローバル教育講演会

地元を離れ、様々な経験を積んだ方や専門的な分野で活躍している方などの話を聞く講演会をオンラインで開催した。

ア 実施校 栃木東中学校、栃木西中学校、皆川中学校、寺尾中学校、藤岡中学校、西方中学校

イ 実施日 2月13日（金）

ウ 講師 中島 薫 氏

(6) 児童生徒会交流

I C T機器を活用して、距離の離れた学校の児童生徒同士が、互いの地域の紹介や学校での取組について意見交換を行った。

ア 実施校 東陽中学校、滝川市立明苑中学校（友好親善都市）

イ 実施日 12月1日（月）、12月18日（木）

(7) 外国人児童生徒等への日本語指導

日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対して、市内拠点校の日本語教室においての日本語指導や、在籍校での日本語指導に対して支援者（日本語指導員、日本語指導サポーター）の派遣を実施した。

来日直後の外国人児童生徒等に対しては、在籍校に支援者（母語支援員）を派遣し、児童生徒の母語による支援を実施した。

ア 日本語指導児童生徒数（対応のべ人数）

	初期指導	教科指導	計
日本語教室での通級指導	34	37	71
在籍校への支援者の派遣	1	91	92
合計	35	128	163

2 ICT教育環境の整備

(1) 主な情報通信機器の保守管理等の業務委託とその概要（単位：円）

業 務 名	概 要	委託費
ネットワーク機器 保守運用管理	校内ネットワーク機器の保守管理	小：13,139,500 中：8,107,550
G I G A スクール タブレット運用支援	児童生徒用タブレットの運用支援 （障害受付・調査、設定変更、各学校個別支援対応等）	小：20,661,300 中：11,055,000

(2) 小中学校への教育用コンピュータの整備

ア 小学校（全学校共通）・教育用コンピュータの借上及び保守管理

（学校別実施）・機器の更新 新規契約 13校

・機器の再リース 3校

イ 中学校（全学校共通）・教育用コンピュータの借上及び保守管理

（学校別実施）・機器の更新 新規契約 8校

・機器の再リース 3校